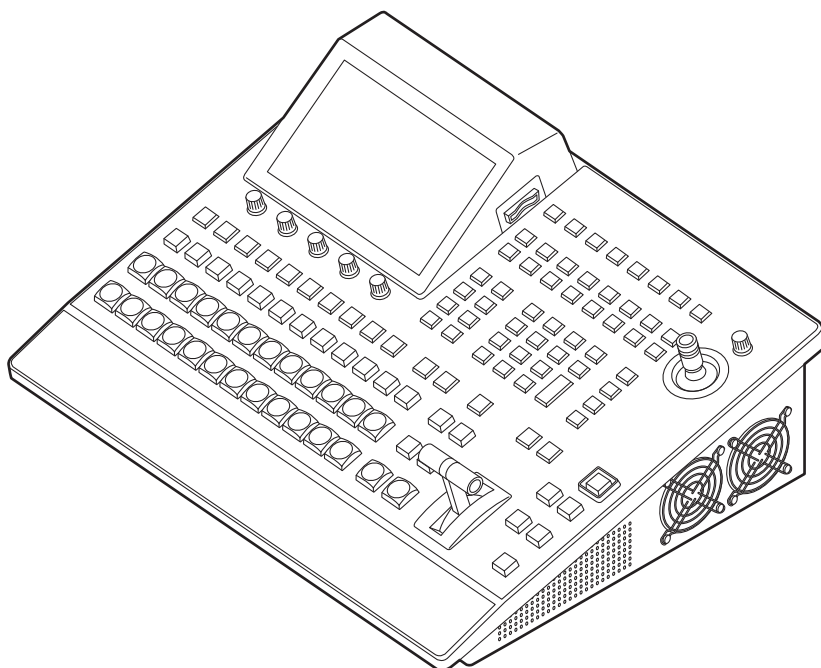


Panasonic®

取扱説明書 簡易版

ライブスイッチャー
品番 **AV-UHS500**



HDMI™



簡易版 取扱説明書

詳細は、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6 ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

● 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL) ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
ソースコードの入手については、下記の Web サイトをご覧ください。
https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav
なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。
2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
3. 本製品には、FreeType Project (www.freetype.org) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容については、下記の Web サイトを参照してください。

<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>

原文 (英文) で記載しております。

商標および登録商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Primatte[®] は、株式会社 IMAGICA フォトロン の登録商標です。
- Primatte[®] の著作権は、株式会社 IMAGICA フォトロン が保有しています。
- Primatte[®] の特許は、株式会社 IMAGICA フォトロン が保有しています。
- NDI[®] は 映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- SDHC メモリーカードまたは SDXC メモリーカードは、いずれも「メモリーカード」と記載しています。
それぞれを分けて説明する場合は、個別に記載しています。
- パーソナルコンピュータを「コンピューター」、「PC」と記載しています。
- NDI[®] を「NDI」と記載しています。
- NDI[®] HX1、NDI[®] HX2 を「NDI HX」と総称して記載しています。
- NDI[®] High Bandwidth を「NDI」と記載しています。

また本書では、機器の品番を下記のように記載しています。

機器の品番	本書での記載
AV-UHS5M1G	AV-UHS5M1
AV-UHS5M2G	AV-UHS5M2
AV-UHS5M3G	AV-UHS5M3
AV-UHS5M4G	AV-UHS5M4
AV-UHS5M5G	AV-UHS5M5
AV-UHS5M6G	AV-UHS5M6

本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

もくじ

安全上のご注意（必ずお守りください）.....	4	準備.....	25
はじめに	7	電源の入れかたと切りかた.....	25
概要.....	7	メニューの基本操作	26
定格表示について	7	メニュー構成と操作.....	26
免責について.....	7	キーボード画面の操作.....	28
ネットワークに関するお願い.....	7	メニューデリゲーション機能	28
使用上のお願い.....	8	システムフォーマットの設定	29
設置上のご注意.....	9	日付と時刻の設定	29
特長.....	10	外形寸法図	30
付属品.....	11	定格.....	31
設置と接続	12	保証とアフターサービス （よくお読みください）.....	32
オプションユニットの取り付けかた	12		
各部の名前とはたらき	14		
制御パネル部.....	14		
クロスポイント部	15		
メモリー/ワイプパターン/テンキー部.....	17		
ユーザーボタン部	18		
トランジション部	18		
ディスプレイ部	20		
ポジショナー部	22		
メモリーカード部	23		
背面部.....	24		

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

設置業者様向け



■ 電源を入れたまま設置や接続工事、配線をしない
(火災や感電の原因となります。)



警告



■ 本機の設置や接続工事は販売店に依頼する
(設置や接続工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)
⇒ 必ず販売店に依頼してください。

異常、故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

■ 異常があったときは、電源プラグを抜く
[内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき]
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ 本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。









■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。





■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる
(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。)
⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。

■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する
(本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)

⚠ 警告 (つづき)

	<p>■ 電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱機器に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど] (傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。) ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V - 240 V 以外での使用はしない (たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。) ⇒ 付属の電源コードは最大定格：AC125 V です。日本国内では 100 V でご使用ください。</p>
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 <p>分解禁止</p>	<p>■ 分解や改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 <p>接触禁止</p>	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない (感電の原因になります。)</p>
 <p>水場使用禁止</p>	<p>■ 水場で使用しない (火災や感電の原因になります。)</p>
 <p>ぬれ手禁止</p>	<p>■ ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 振動や強い衝撃を与えない (火災や感電の原因となります。)</p>
	<p>■ 開口部 (オプションスロット部など) に手を入れない (けがや感電の原因となります。)</p>
	<p>■ メモリーカード (別売品) やねじは乳幼児の手の届くところに置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

⚠ 注意

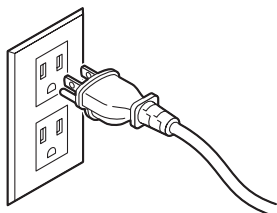
	<p>■ 本機の放熱を妨げない [通風孔やファンは、ふさがない、横倒し、逆さまにしない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60℃以上)になりますので、外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。) ⇒ 本機を絶対に放置しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。また、重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、点検・整備・修理の前には、電源プラグをコンセントから抜く (火災の原因になります。また、感電の危険があります。)</p>
	<p>■ コードを接続した状態で移動しない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 1年に1度程度は、販売店に内部の掃除の相談をする (本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因になります。)</p>
	<p>■ 落としたり、破損させたりしない (本機を落としたり、破損させたりしたまま使用すると、火災や感電の原因となります。) ⇒ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～ AC (交流)

電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されている AC コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付 AC コードを準備してください。

はじめに

■概要

本機は、4K/3G/HD マルチフォーマットに対応した 1ME デジタルビデオスイッチャーです。

12G-SDIに対応した4Kライブスイッチャー

AV-UHS500は、ハイエンド大型スイッチャーに迫る基本機能を備え、HD映像制作時と同等の運用性を4K映像制作で可能にします。可搬性に優れた本体一体型ボディにより音楽やスポーツ、エンターテインメントショーなど数々のライブイベントに持ち出して使用可能です。

また、4K/3G/HDマルチフォーマット対応に加え、オプションユニットの増設によりSDIで最大16入力まで拡張することができ、カメラ台数の多いイベントでもスムーズに運用ができます。

多彩な番組演出を可能にするキーヤーはPinP 2ch、クロマキー 2chを含む5キーヤーを装備しています。

さらに、アップ/ダウンコンバート機能、HDR/SDR変換機能、ITU-R BT.2020/BT.709変換機能を搭載し、異なるフォーマットが混在するシーンでも目的に合わせた柔軟な映像出力を選択できます。

放送局はもちろん特設会場や中継車での持ち出し用途に、また大学や企業の講演イベントなどに、様々な用途での使いやすさを追求した4Kライブスイッチャーが、その現場の生きた映像制作に高いパフォーマンスを発揮します。

■定格表示について

本機の名称、品番、電気定格は、背面に表示されています。

■免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥取付方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- ⑦登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- ⑧本体やメモリーカードまたはコンピューターに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。ネットワークへ接続して使用する際には、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- コンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、以下の点にもご注意ください。

- 本機と接続する機器は、同一セグメントでの運用を推奨します。セグメントが異なる機器との接続を行う場合は、ネットワーク機器固有の設定などに依存した事象が発生する可能性がありますので、運用開始前に本機と接続対象機器との接続確認を十分に行ってください。
- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。

使用上のお願い

●取り扱いには注意に

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、フェーダーレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

●使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

●湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

●お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤（中性）を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

お願い

- ・ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

●制作時のご注意

本機の映像切り替え機能や映像効果機能を用いると、細かく点滅する映像や急激に変化する映像を制作することが可能です。

このような映像は、視聴者の身体へ影響を与える可能性がありますので、制作時には、特にご留意ください。

●内蔵ディスプレイ（液晶モニター）について

内蔵ディスプレイに長時間同じ画像を映したままにしておくと、残像（焼き付き）が一時的に発生する場合があります。

この残像は、通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

液晶モニターのドットについては、有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。

これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。

温度差が激しい所では、液晶モニターの液晶部につゆがつくことがあります。そのような場合は柔らかい乾いた布でふいてください。

本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

●廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

●消耗品について

冷却ファン：

冷却ファンは消耗品です。

約5年（1日に15時間使用時）を目安に交換してください。

消耗品の交換時期は、使用条件により異なります。

消耗品を交換する場合は、必ず、販売店に依頼してください。

設置上のご注意

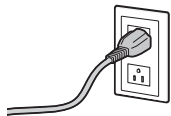
●「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

電源の接続について

- 付属のACコードを必ず使用してください。
- 付属のACコードはアース端子付き3芯プラグです。

接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。

- 背面のグラウンド端子 (SIGNAL GND) は、システムのグラウンドに接続してください。
- 長時間使用しないときは、節電のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



取り扱いはていねいに

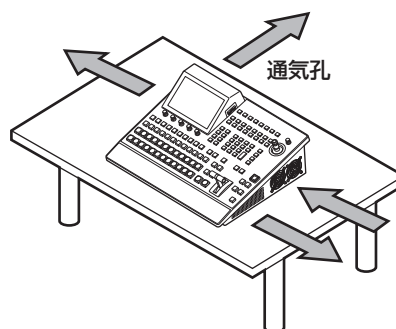
- 落としたり、強い衝撃や振動を与えると、故障や事故の原因になります。

内部に異物を入れないでください。

- 水や金属、飲食物などの異物が内部に入ると、火災や感電の原因になります。

設置場所について

- 十分な強度があり、安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 本機の通気孔周辺は、通風の妨げにならないように100 mm以上の空間を確保してください。
特にパネルやテーブルに埋め込んで使用する場合は、通気と配線の空間を十分に確保してください。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しないでください。
- 直射日光の当たるところや温風の吹き出し口付近への設置は避けてください。
- 湿気やほこり、振動の多い場所に設置すると、故障の原因となります。



特長

コンパクト設計、豊富な入出力

- コンパクトながら、SDI 入力 8 系統、HDMI 入力 2 系統、SDI 出力 5 系統、HDMI 出力 2 系統を装備しています。
- カット、ミックス、ワイプによるバックグラウンドトランジションに加え、キーヤーはクロマキー 2ch、PinP 2ch を含む 5 キーヤーを装備しています。
- 2 系統のマルチビューディスプレイ機能により、最大 16 系統の映像を 1 台のモニターに分割して表示できます。
- 入出力は標準で 4K/3G/HD-SDI に対応し、すべての入力にフレームシンクロナイザー (FS) を内蔵しています。
- 入出力兼用のオプションスロットを 2 つ備えており、入力用オプションユニット追加で最大 16 入力、出力用オプションユニット追加で最大 13 出力まで拡張することができます。

マルチフォーマット対応

- 4K/2K/HD マルチフォーマットに対応しています。

4K フォーマット：

2160 × 59.94p、2160 × 50p、2160 × 29.97p、
2160 × 25p、2160 × 24p、2160 × 23.98p

2K フォーマット：

1080 × 59.94P、1080 × 50P、1080 × 29.97Psf、
1080 × 25Psf、1080 × 24Psf、1080 × 23.98Psf、
1080 × 59.94i、1080 × 50i、1080 × 29.97p、
1080 × 25p、1080 × 24p、1080 × 23.98p

HD フォーマット：

720 × 59.94P、720 × 50P

- 12G-SDI/3G-SDI/1.5G-SDI/HDMI の多彩なインターフェイスに対応しています。
- 本体一体型のコンパクトな筐体に 3 基 (内 1 基はソフトウェアアップデートで対応予定) のオプションスロットを装備しています。
- 入力数は、SDI 標準 8 系統 / 最大 16 系統、HDMI 標準 2 系統 / 最大 8 系統まで拡張可能です。
- 出力数は、SDI 標準 5 系統 / 最大 13 系統、HDMI 標準 2 系統 / 最大 8 系統まで拡張可能です。
- 5 つのキーヤーを装備し、豊富な映像効果を実現します。
- アップ / ダウンコンバート機能、HDR/SDR 変換機能、ITU-R BT.2020/BT.709 変換機能を搭載しています。
- AUX BUS を 4 系統装備。AUX1、2 には MIX トランジション機能を装備し、さらに DSK1、2 をアサイン可能です。
- 最大 16 台の当社製 4K/HD インテグレートッドカメラを制御するリモートカメラコントローラー機能を搭載しています。
- Primatte[®] アルゴリズムによる高品位クロマキーが可能です。
- ビデオメモリー (静止画と動画それぞれ 2 系統 (ただし 4K モードでは 1 系統)) をキー信号付きで録画や再生が可能です。
- ショットメモリー、イベントメモリー機能を搭載しています。
- SD メモリーカード / SDHC メモリーカード / SDXC メモリーカードに対応しています。
- 7 型カラーディスプレイを内蔵しています。

用途に応じて多彩な機能拡張が可能なオプションユニット

- SDI 入力ユニット AV-UHS5M1
3Gもしくは12G-SDI × 4入力 フレームシンクロナイザー、アップコンバート、カラーコレクション、SDR/HDR変換、ITU-R BT.2020/BT.709変換に対応しています。
- SDI 出力ユニット AV-UHS5M2
3Gもしくは12G-SDI × 4出力 ダウンコンバート、HDR/SDR変換、ITU-R BT.2020/BT.709変換に対応しています。
- HDMI 入力ユニット AV-UHS5M3
HDMI2.0 × 3入力
各チャンネルにスケーラー機能を搭載しています。
- HDMI 出力ユニット AV-UHS5M4
HDMI2.0 × 3出力
各チャンネルにスケーラー機能を搭載しています。
- 4K DVE ユニット AV-UHS5M5
4K モード時の DVE 機能を搭載しています。(BKGD × 1、Keyer × 1)
- NDI I/F ユニット AV-UHS5M6
Vizrt NDI AB 社の NDI[®] High Bandwidth* (以下 NDI と記載) および NDI[®] HX1、NDI[®] HX2* (以下 NDI HX と記載) の入出力に対応しています。
 - ・ システムフォーマット 4K 時 : NDI 入力 1 系統、NDI 出力 1 系統
 - ・ システムフォーマット 2K 時 : NDI または NDI HX 入力最大 4 系統、NDI 出力最大 2 系統* NDI[®] は 映像伝送・制御技術であり、Vizrt NDI AB の米国およびその他の国における登録商標です。

付属品

付属品をご確認ください。

- 電源コードキャップ（付属している場合）および包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

ACコード..... 1

■ 別売品

オプションユニット

製品品番	名称	機能	対応するスロット	
			SLOT A	SLOT B
AV-UHS5M1	SDI 入力ユニット	3G/12G-SDI 入力 4 系統	○	○
AV-UHS5M2	SDI 出力ユニット	3G/12G-SDI 出力 4 系統	○	○
AV-UHS5M3	HDMI 入力ユニット	HDMI 入力 3 系統	○	○
AV-UHS5M4	HDMI 出力ユニット	HDMI 出力 3 系統	○	○
AV-UHS5M5	4K DVE ユニット	BKGD 出力 1 系統、Keyer 出力 1 系統	○	○
AV-UHS5M6	NDI I/F ユニット	システムフォーマット 4K 時： NDI 入力 1 系統、NDI 出力 1 系統 システムフォーマット 2K 時： NDI または NDI HX 入力最大 4 系統、NDI 出力 2 系統	○	○

○：有効

設置と接続 (必ず、販売店に依頼してください。)

■オプションユニットの取り付けかた

詳細は、各オプションユニットの取扱説明書を参照してください。

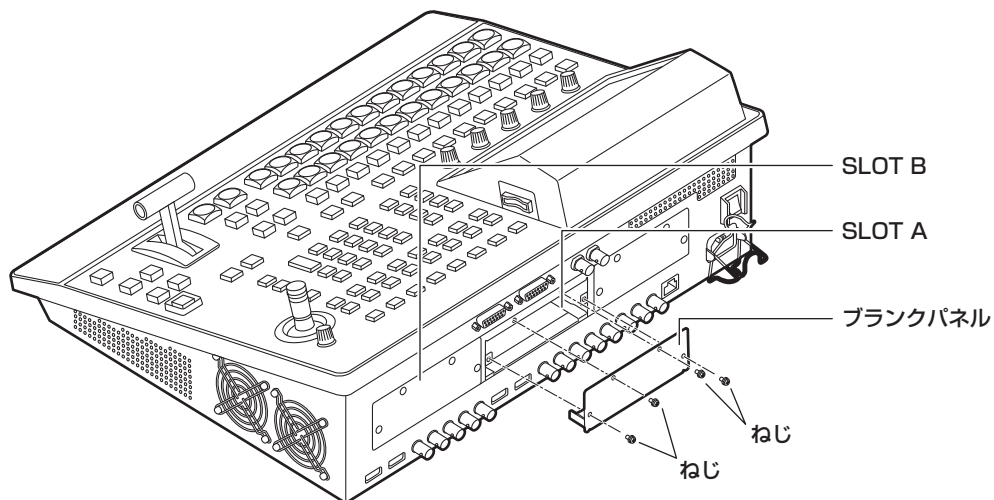
AV-UHS5M1	SLOT A	IN-A1、IN-A2、IN-A3、IN-A4
	SLOT B	IN-B1、IN-B2、IN-B3、IN-B4
AV-UHS5M2	SLOT A	OUT-A1、OUT-A2、OUT-A3、OUT-A4
	SLOT B	OUT-B1、OUT-B2、OUT-B3、OUT-B4
AV-UHS5M3	SLOT A	IN-A1、IN-A2、IN-A3
	SLOT B	IN-B1、IN-B2、IN-B3
AV-UHS5M4	SLOT A	OUT-A1、OUT-A2、OUT-A3
	SLOT B	OUT-B1、OUT-B2、OUT-B3
AV-UHS5M6	SLOT A	IN-A1、IN-A2、IN-A3、IN-A4、OUT-A1、OUT-A2
	SLOT B	IN-B1、IN-B2、IN-B3、IN-B4、OUT-B1、OUT-B2

NOTE

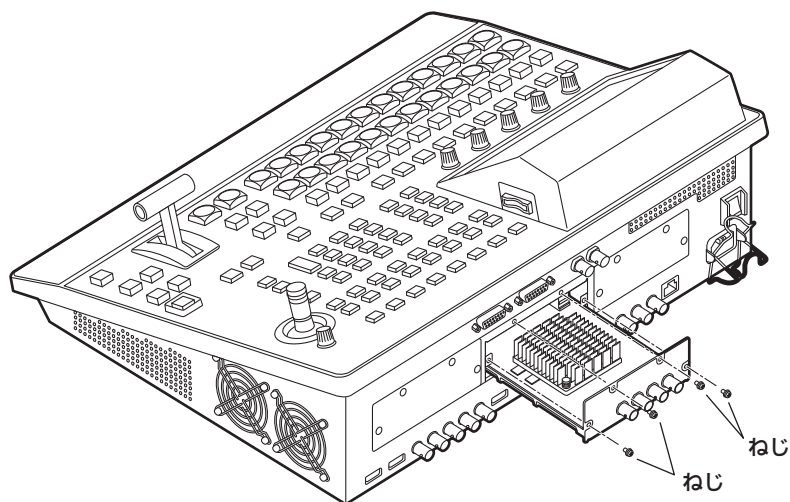
- 取り付け、および取り外し作業は、電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
- オプションユニットに触れる前に、接地した金属に手を触れ、人体に帯電している静電気を「放電」してください。静電気防止のリストストラップを着けると安全です。
帯電している状態でオプションユニットに触れると、故障の原因となります。
- オプションユニットを落としたり、強い衝撃や振動を与えて破損しないようにしてください。
- オプションユニットを取り外した後は、必ずブランクパネルを取り付けてください。
- オプションユニットを取り付けるときや取り外すときに、オプションユニットの縁や金属部などでけがをしないようにご注意ください。

設置と接続 (必ず、販売店に依頼してください。)

- ① 本機の電源を OFF にし、AC コードを抜く。
- ② 背面の SLOT A または SLOT B のねじ 4 本を緩めて、ブランクパネルを外す。



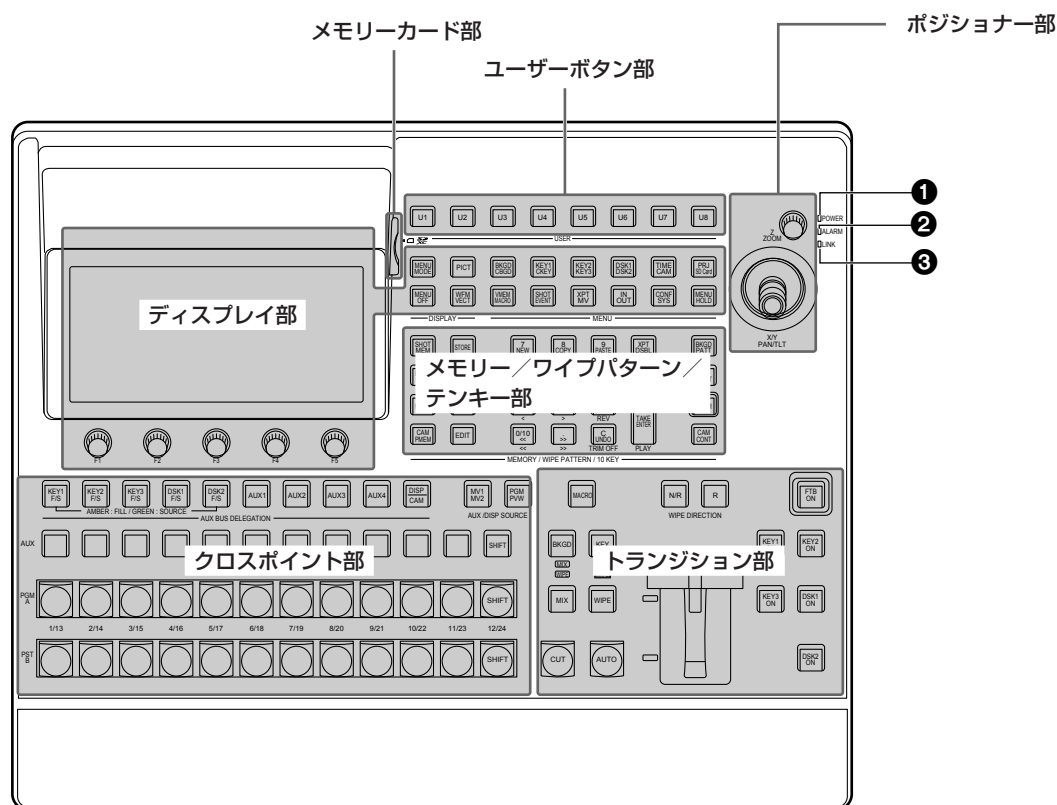
- ③ オプションユニットをガイドレールに沿わせて、ゆっくりと差し込む。
確実に奥まで差し込んでください。このとき無理な力を加えると、内部のコネクターを破損することがありますので、ご注意ください。
- ④ ねじ 4 本でオプションユニットを取り付ける。
締め付けトルク：0.7 N・m



- ⑤ 必要なケーブルを接続してから、AC コードを差し込んで電源を入れる。

各部の名前とはたらき

制御パネル部



① 電源ランプ [POWER]

AC 電源入力端子 (45) に電源が入力されているときに、背面の電源スイッチ (38) を ON にすると点灯します。

② アラームランプ [ALARM]

下記の異常が発生した時に点灯します。

- ・ 冷却ファン停止
- ・ 電源異常 (電圧低下)
- ・ 本機の内部が高温

このとき、内蔵ディスプレイにアラームメッセージが表示されます。

アラーム発生中は、System メニュー → Alarm サブメニューで、異常の内容を確認することができます。

アラーム情報は、背面の TALLY/GPI 端子 (48) から外部機器に出力することができます。

詳しくは、取扱説明書 (PDF) の「アラームメッセージ」を参照してください。

アラームが発生した場合は、すぐに使用を中止し、必ず販売店へご連絡ください。

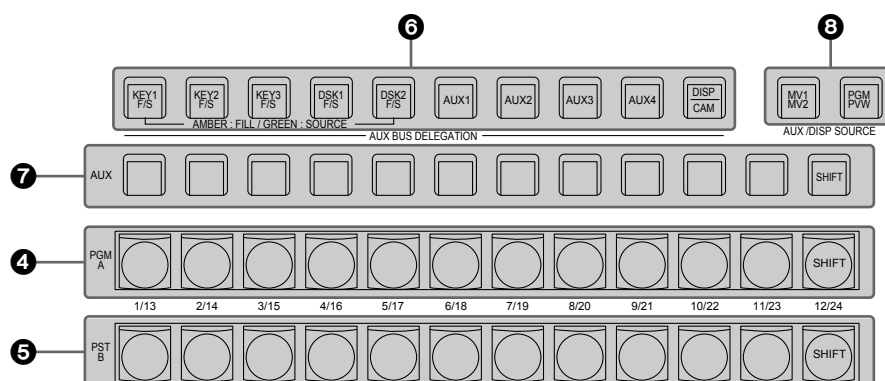
そのまま使用すると、本機が故障する原因となる場合があります。

③ LINK ランプ [LINK]

外部機器と本機をリンクしているときに点灯します。外部機器の設定は、外部機器の取扱説明書を参照してください。

各部の名前とはたらき

クロスポイント部



④ PGM/A バスクロスポイントボタン

[PGM/A 1 ~ 12]

PGM/A バスの映像信号を選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

Config メニュー → Operate サブメニューで、Bus Mode 項目を“A/B”、“PGM-A/PST-B”、“PGM-B/PST-A”から選択することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「バスモードの選択」参照
クロスポイントボタン (④、⑤、⑦) を長押ししたときは、入力素材の名称やクロスポイントボタンの番号を表示します。

⑤ PST/B バスクロスポイントボタン

[PST/B 1 ~ 12]

PST/B バスの映像信号を選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

Config メニュー → Operate サブメニューで、Bus Mode 項目を“A/B”、“PGM-A/PST-B”、“PGM-B/PST-A”から選択することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「バスモードの選択」参照

⑥ AUX バス選択ボタン (AUX BUS DELEGATION)

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) で操作するバスを選択します。

選択されているボタンが点灯します。

[KEY1 F/S]、[KEY2 F/S]、[KEY3 F/S] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) をキーフィルバス、またはキーソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに、キーフィルバスとキーソースバスが切り替わります。

アンバー	キーフィルバス
グリーン	キーソースバス

[DSK1 F/S]、[DSK2 F/S] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) を DSK フィルバス、または DSK ソースバスのソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに DSK フィルバスと DSK ソースバスが切り替わります。

アンバー	DSK フィルバス
グリーン	DSK ソースバス

[AUX1] ~ [AUX4] :

AUX バスクロスポイントボタン (⑦) を AUX バスのソース選択ボタンに切り替えます。

[DISP/CAM] (内蔵ディスプレイ /CAM) :

内蔵ディスプレイ選択時は、AUX クロスポイントボタン (⑦) を DISP バス (内蔵ディスプレイに表示する映像) のソース選択ボタンに切り替えます。

CAM 選択時は AUX クロスポイントボタン (⑦) を CAM ソース選択ボタンに切り替えます。

ボタンを押すごとに内蔵ディスプレイ選択と CAM 選択が切り替わります。

アンバー	内蔵ディスプレイ選択
グリーン	CAM 選択

各部の名前とはたらき

⑦ AUX バスクロスポイントボタン

AUX バス選択ボタン (⑥) で切り替えたバスのソースを選択します。

[SHIFT] ボタンを使って、1 ~ 24 までを選択することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「SHIFT 機能によるバスの選択」参照

⑧ AUX/DISP バス専用クロスポイントボタン (AUX/DISP SOURCE)

AUX バス選択ボタン (⑥) の [AUX1] ~ [AUX4] ボタンが点灯している間は、AUX バスのソースを選択します。

AUX バス選択ボタン (⑥) の [DISP/CAM] ボタンが点灯している間は、DISP バスのソースを選択します。

押されたボタンは、アンバー色に点灯します。

[MV1/MV2] :

AUX バス、または DISP バスにマルチビューディスプレイ信号 1 もしくは 2 を選択します。

マルチビューディスプレイ信号 1/2 は、[SHIFT] ボタン (⑦) で切り替えられます。

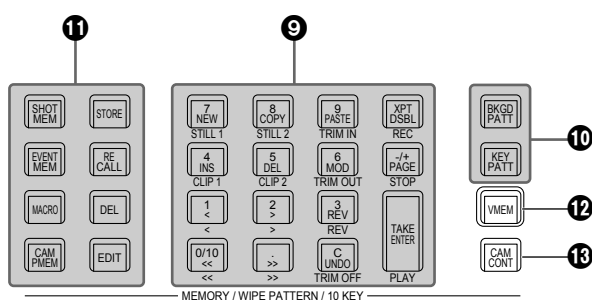
[PGM/PVW] :

AUX バス、または DISP バスに PGM 信号もしくは PVW 信号を選択します。

PGM 信号 / PVW 信号は、[SHIFT] ボタン (⑦) で切り替えられます。

各部の名前とはたらき

メモリー／ワイプパターン／テンキー部



⑨ テンキー

下記ボタンを押して点灯させると、その機能の操作ボタンに切り替わります。

⑩ BKGD/KEY パターン選択ボタン	[BKGD PATT] [KEY PATT]
⑪ メモリー操作ボタン	[SHOT MEM] [EVENT MEM] [MACRO] [CAM PMEM]
⑫ ビデオメモリー操作ボタン	[VMEM]

⑩ BKGD/KEY パターン選択ボタン

[BKGD PATT]、[KEY PATT]

[BKGD PATT] ボタンを押して点灯しているときは、テンキーでバックグラウンドトランジションのワイプパターンを選択します。

[KEY PATT] ボタンを押して点灯しているときは、テンキーでキートランジションのワイプパターンを選択します。

[BKGD PATT] ボタンと [KEY PATT] ボタンが点灯しているときは、内蔵ディスプレイにパターン選択メニューを表示します。

このとき [F1] (33) を回すと、パターンのページが切り替わります。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「ワイプ」 参照

⑪ メモリー操作ボタン

[SHOT MEM]、[EVENT MEM]、[MACRO]、
[CAM PMEM] :

メモリーの種類を選択します。
テンキー (1 ~ 10) で操作や設定の登録・呼び出し
ができます。

[STORE] :

メモリーを登録します。

[RECALL] :

メモリーの呼び出しをします。

[DEL] :

メモリーを削除します。

[EDIT] :

イベントメモリー / マクロメモリーを編集します。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「メモリー」 参照

⑫ ビデオメモリー操作ボタン [VMEM]

[VMEM] ボタンを押して点灯しているときは、テンキー
でビデオメモリーの録画、再生などの操作ができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「ビデオメモリー」 参照

⑬ カメラ制御ボタン [CAM CONT]

接続されているリモートカメラの制御を行うことができ
ます。

制御にはポジショナー (34)、ディスプレイモードボタン
(30) を使用します。

各部の名前とはたらき

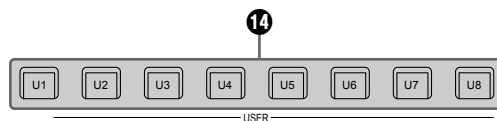
ユーザーボタン部

14 ユーザーボタン (USER BUTTON)

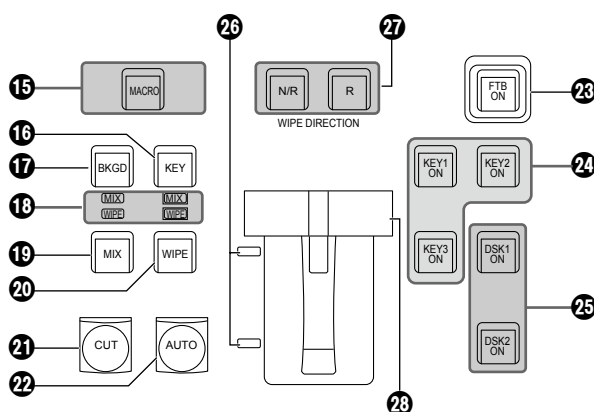
[U1 ~ U8]

Config メニューでメニュー設定の一部の機能を、[U1] ~ [U8] にアサインして使用することができます。

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「ユーザーボタンの設定」 参照



トランジション部



15 [MACRO] ボタン

メニューの Macro Assign にて XPT に設定された Macro メモリーを実行する場合に使用します。
[MACRO] ボタンを選択しアンバー点灯時、メニューの Macro Assign にて Macro メモリーが設定された [AUX] ボタンがグリーン点灯します。
点灯したボタンを選択すると、登録されていた Macro メモリーが実行されます。

16 [KEY] ボタン

[CUT] ボタン (21)、[AUTO] ボタン (22) またはフェーダーレバー (28) の操作を行ったときに、KEY1 のトランジションを行います。
[KEY] ボタンを押して選択されているときは、アンバー色に点灯します。
[BKGD] ボタン (17) が押された場合は消灯し、非選択状態になります。
ただし、[BKGD] ボタン (17) と [KEY] ボタンを同時に押した場合は、両方の選択状態となります。

17 [BKGD] ボタン

[CUT] ボタン (21)、[AUTO] ボタン (22) またはフェーダーレバー (28) の操作を行ったときに、バックグラウンドのトランジションを行います。
[BKGD] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。
[KEY] ボタン (16) が押された場合は消灯し、非選択状態になります。
ただし、[BKGD] ボタンと [KEY] ボタン (16) を同時に押した場合は、両方の選択状態となります。

18 MIX/WIPE 選択状態表示 LED

バックグラウンドトランジションまたはキートランジションを行うときに、それぞれ MIX、WIPE のどちらが選択されているかを表示します。

19 [MIX] ボタン

A/B バスの画像をオーバーラップさせながら切り替えます。
トランジション中は、A/B バスの出力の合計が 100 % に保たれます。
[MIX] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。
[WIPE] ボタン (20) が押された場合は、消灯し、非選択状態になります。

各部の名前とはたらき

⑳ [WIPE] ボタン

テンキー (9) で選択したパターンにより、トランジションを行います。

[WIPE] ボタンを押して選択されているときはアンバー色に点灯します。

[MIX] ボタン (19) が押された場合は、消灯し、非選択状態になります。

㉑ [CUT] ボタン

トランジションを瞬時に実行します。

トランジション中はアンバー色に点灯し、トランジションが完了すると消灯します。

KEY 設定時は、KEY1 のみ有効です。

㉒ [AUTO] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムにより、トランジションを自動実行します (オートトランジション)。

オートトランジション中はアンバー色に点灯します。

オートトランジション中に再度押すと、オートトランジションの動作を中断し、緑色に点灯します。中断中に再度押すと、残りのトランジションを実行します。

オートトランジションが完了すると消灯します。

フェーダーレバー (28) が途中の状態 [AUTO] ボタンを押すと、途中からの残り時間でトランジションを実行します。

KEY 設定時は、KEY1 のみ有効です。

㉓ [FTB ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面へのフェードアウト、または黒画面 / 白画面 / Still / Clip / カラーバックグラウンド画面からのフェードインを実行します。

㉔ [KEY1 ON] [KEY2 ON] [KEY3 ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、キーのトランジションを行います。

㉕ [DSK1 ON] [DSK2 ON] ボタン

Time メニューで設定されたトランジションタイムで、ダウンストリームキーのフェードイン、フェードアウトを実行します。

㉖ バスタリー LED

A/B バスの出力状態を表示します。プログラム (PGM) 出力されているバス側が点灯します。

㉗ ワイプ方向選択ボタン (WIPE DIRECTION)

[N/R]、[R]

バックグラウンドトランジション実行時にワイプを行う方向を選択します。

[R] 消灯時:

ノーマル方向にワイプを行います。

[R] 点灯時:

リバース方向にワイプを行います。

[N/R] 点灯時:

トランジション完了時にノーマル方向とリバース方向を入れ替えます。

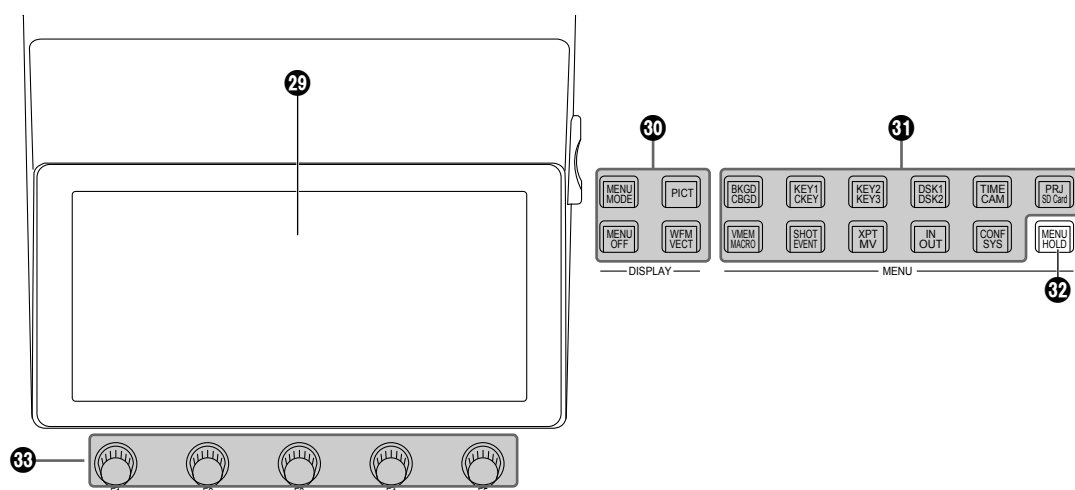
(ワイプを行う方向に合わせて [R] ボタンの点灯と消灯も切り替わります。)

㉘ フェーダーレバー

バックグラウンドまたは KEY1 のトランジションを実行する場合に使用します。レバーを動かしきると、トランジションが完了します。オートトランジション実行中にフェーダーレバーを動かした場合、フェーダーの位置が実行中のトランジション量を追い越した時点でマニュアル動作に切り替わります。

各部の名前とはたらき

ディスプレイ部



29 内蔵ディスプレイ

ディスプレイモードボタン(30)、メニュー選択ボタン(31)や[CAM CONT] ボタン(13)の操作によって、映像、波形、メニューを表示します。

内蔵ディスプレイに映像を表示する場合は、AUX バス選択ボタン(6)の[DISP/CAM] ボタンを押してアンバー色に点灯させてください。

DISP バスで選択したソースの映像を表示することができます。

カメラ入力を確認する場合は、[CAM CONT] ボタン(13)を選択しアンバー表示している状態で、AUX バス選択ボタン(6)の[DISP/CAM] ボタンを選択、グリーン表示させて、確認したいカメラの接続されたAUXのXPTを選択してください。

30 ディスプレイモードボタン (DISPLAY)

内蔵ディスプレイの表示内容を切り替えます。

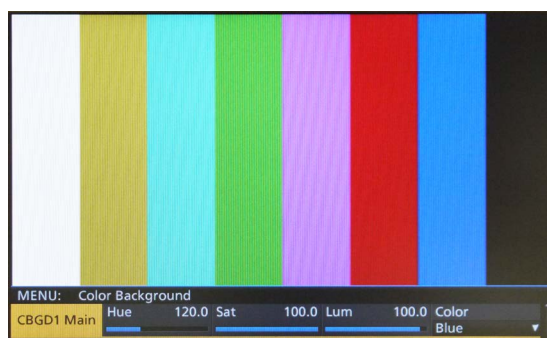
[MENU MODE] :

ボタンを押すごとに、メニューのモードが切り替わります。

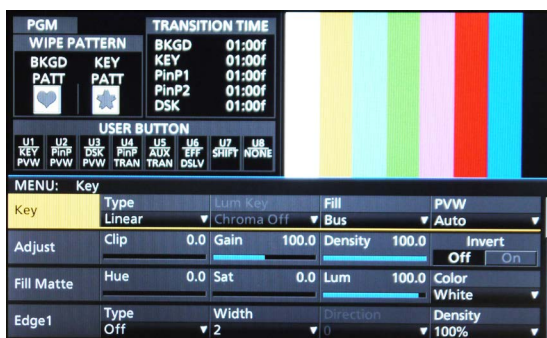
- メニューのみを表示



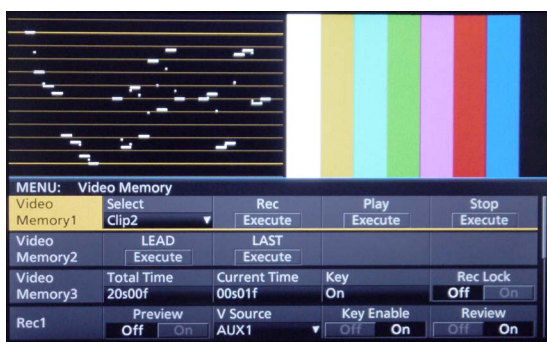
- メニュー表示 1 行と全画面の映像表示



- メニュー表示 / 子画面 / 映像表示



- メニュー表示 / WFM 表示 (または VECTOR 表示) / 映像表示



内蔵ディスプレイの上部に表示している映像表示とWFM表示(またはVECTOR表示)は[PICT]ボタンや、[WFM/VECT]ボタンで切り替えます。

各部の名前とはたらき

[MENU OFF] :

メニューの表示を消して、映像の表示のみに切り替えます。

[PICT] :

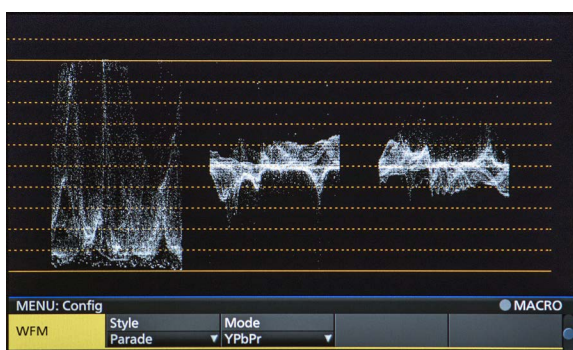
ボタンを押して点灯させると、内蔵ディスプレイに映像を表示します。

[WFM/VECT] :

ボタンを押して点灯させると、内蔵ディスプレイにWFM（波形モニター）または、VECTOR（ベクトルスコープ）を表示します。

ボタンを押すごとに、WFM 表示と VECTOR 表示が切り替わります。

- WFM（波形モニター）表示



- VECTOR（ベクトルスコープ）表示



⑪ メニュー選択ボタン (MENU)

ボタンを押すごとに、ボタンの上段に表示されている機能と下段に表示されている機能のメニューが切り替わります。

選択中のメニューのボタンは、アンバー色に点灯します。

⑫ [MENU HOLD] ボタン

メニュー表示を固定します。

メニューを表示しているときにこのボタンを押すと、メニュー選択ボタンを押しても他のメニューに切り替わりません。

[MENU HOLD] ボタンが押されているときは、[MENU HOLD] ボタンがアンバー色に点灯します。

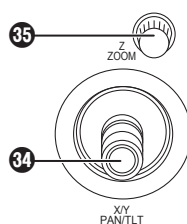
⑬ ロータリーエンコーダー [F1] ~ [F5]

内蔵ディスプレイに表示されたパラメーターを設定します。

⇒「メニューの基本操作」参照

各部の名前とはたらき

ポジショナー部



34 ポジショナー (POSITIONER)

[X/Y] [PAN/TILT]

下記の設定を行うときに使用します。

- Key PinP、DSK PinP の位置設定
- ワイプの開始位置設定

対象パターン：

WIPE1： 5

WIPE2： 4、5、6、7

SQ1： 5

SQ2： 4、5、6、7

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「ワイプ」 参照

- フライングキーの位置設定
- クロマキーのマーカ位置設定
- 文字入力時
- キーボード画面使用の設定
- リモートカメラのパン・チルト制御

いずれも下記メニューが選択されている場合にのみ有効になります。

NOTE

本機は、電源を入れてから起動するまでの間にポジショナーの位置を検出し、中心位置に設定します。起動するまでの間は、ポジショナーに触れないでください。

35 ロータリーエンコーダー [Z] [ZOOM]

PinP やフライングキーの大きさ設定、およびクロマキーの領域を選択するとき使用します。

リモートカメラのズーム制御にも使用します。

いずれも下記メニューが選択されている場合にのみ有効になります。

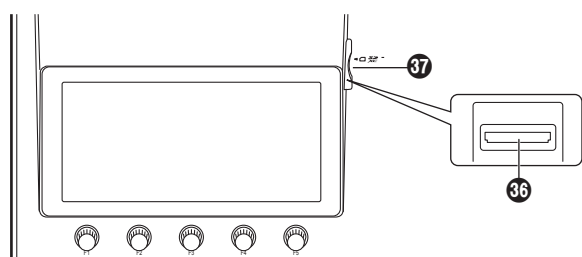
また、キーボード画面使用の設定に使用します。

	ポジショナー		ロータリーエンコーダー		有効メニュー
	X/Y	Z	スイッチ		
Key PinP、DSK PinP	位置調整	サイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	長押しで初期値 (X/Y、Z) に戻る		PinP Position
WIPE (BKGD)	開始位置調整	—	長押しで初期値 (X/Y) に戻る		Background/Position
WIPE (KEY)	開始位置調整	—	長押しで初期値 (X/Y) に戻る		Key/Position
クロマキー	選択位置調整	選択領域のサイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	サンプリングの実行 長押しでサイズが初期値に戻る		Chroma Key
フライングキー	位置調整	サイズ調整 (右回りでサイズが大きくなり、左回りで小さくなる)	長押しで初期値 (X/Y、Z) に戻る		Key1 : Flying Key

[CAM CONT] ボタン (16) がアンバー点灯、もしくは内蔵ディスプレイに [CAM PMEM] 画面の表示中は、Camera Information に登録されたカメラの PAN/TILT、ZOOM 制御に使用することができます。

各部の名前とはたらき

メモリーカード部



36 メモリーカードスロット

SD メモリーカード (別売)、SDHC メモリーカード (別売)、または SDXC メモリーカード (別売) を挿入します。

37 メモリーカードアクセス LED

メモリーカードにアクセスしている間、LED が点灯します。

アクセス LED が点灯している間は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを抜かないでください。メモリーカードのデータが破壊されることがあります。

●メモリーカードについて

本機で使用するメモリーカードは、SD 規格 /SDHC 規格 /SDXC 規格に準拠したものをお使いください。

また、メモリーカードのフォーマットは、必ず本機で行ってください。

FAT でフォーマットされたメモリーカードをお使いください。(NTFS フォーマットのメモリーカードは認識できません。)

本機では、下記の容量の Panasonic 製のメモリーカードが使用できます。

SD (8 MB ~ 2 GB まで)

SDHC (4 GB ~ 32 GB まで)

SDXC (64 GB ~ 128 GB まで)

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記の Web サイトをご参照ください。

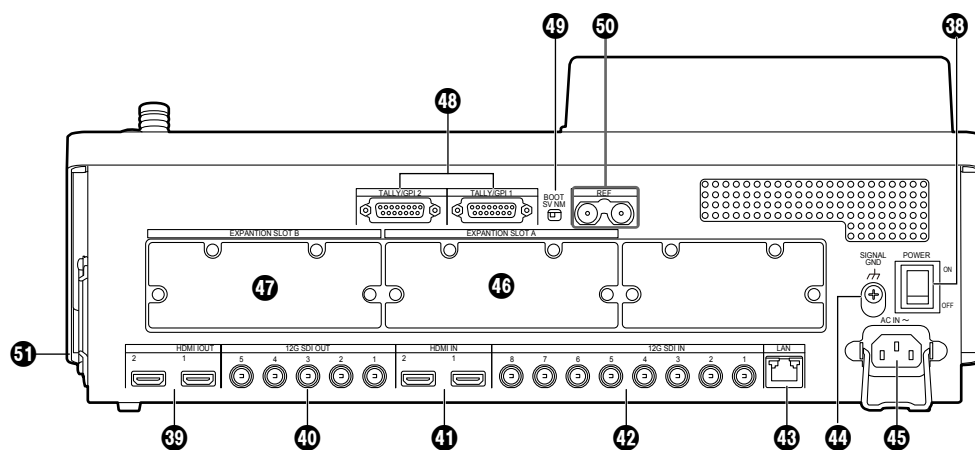
(日本語) https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_proav

(英語) <https://pro-av.panasonic.net/en/>

- 使用時、保管時は以下の点にお気をつけください。
 - ・ 高温・多湿を避ける。
 - ・ 水滴を付けない。
 - ・ 帯電を避ける。

各部の名前とはたらき

背面部



③⑧ 電源スイッチ [POWER]

電源スイッチを ON にすると電源ランプ (①) が点灯し、本機を操作することができます。

③⑨ HDMI 出力端子 [HDMI OUT 1、2]

HDMI ケーブルで外部機器と接続します。

④⑩ SDI 信号出力端子 [12G SDI OUT 1 ~ 5]

メニューによりアサイン可能

④① HDMI 入力端子 [HDMI IN 1、2]

HDMI ケーブルで外部機器と接続します。

④② SDI 信号入力端子 [12G SDI IN 1 ~ 8]

12G SDI IN 1 ~ 12G SDI IN 4 は、アップコンバーター機能を使用することができます。

④③ LAN 端子 [LAN] (RJ-45) (1000Base-TX)

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「外部インターフェース」参照

④④ グランド端子 [SIGNAL GND]

システムのグランドに接続してください。

④⑤ AC 電源入力端子 [AC IN ~] (AC 100 V - 240 V、50/60 Hz)

付属の AC コードを接続し、もう一方を AC コンセントに差し込みます。

付属の AC コードは 3 芯プラグです。3 極コンセントを使用して確実にアースを接続してください。

3 極コンセントが使用できない場合は、必ず販売店にご連絡ください。

④⑥ オプションスロット A [EXPANSION SLOT A]

④⑦ オプションスロット B [EXPANSION SLOT B]

入出力兼用のオプションスロットです。

SDI 入力ユニット、HDMI 出力ユニットなどのオプションユニットを取り付けることができます。

詳細は、「オプションユニットの取り付けかた」(12 ページ) および各オプションユニットの取扱説明書を参照してください。

④⑧ TALLY/GPI 入出力端子 [TALLY/GPI 1、TALLY/GPI 2] (D-sub 15 ピン、メス、インチねじ)

⇒ 取扱説明書 (PDF) 「外部インターフェース」参照

④⑨ BOOT スイッチ [BOOT SV NM]

メンテナンス用のスイッチです。

通常は、「NM」(ノーマル)の位置で使用してください。

④⑩ リファレンス入力端子 / BB 出力端子 [REF]

外部同期モード時は、ループスルー出力します。

ループスルー出力を使用しない場合は、75 Ωで終端してください。

内部同期モード時は、2 つの端子から BB 信号を出力します。

⑤① 冷却ファン

電源の入れかたと切りかた

●電源の入れかた

1 電源スイッチをONにする

本機に電源が供給されると、電源ランプが点灯します。

- ① 数秒後、クロスポイントボタンが点灯します。
- ② クロスポイントボタンが点灯したあと、数秒後にオープニング画面が内蔵ディスプレイに表示されます。
このとき、クロスポイントの切り替えが可能になります。



- ③ オープニング画面が消えると、メニューの操作が可能になります。

●電源の切りかた

1 電源スイッチをOFFにする

本機の電源が切れて、電源ランプが消灯します。

メニューの基本操作

内蔵ディスプレイに表示されるメニューの基本操作を説明します。

詳細な操作については、取扱説明書（PDF）を参照してください。

メニューの構成は、取扱説明書（PDF）の「セッティングメニュー一覧」を参照してください。

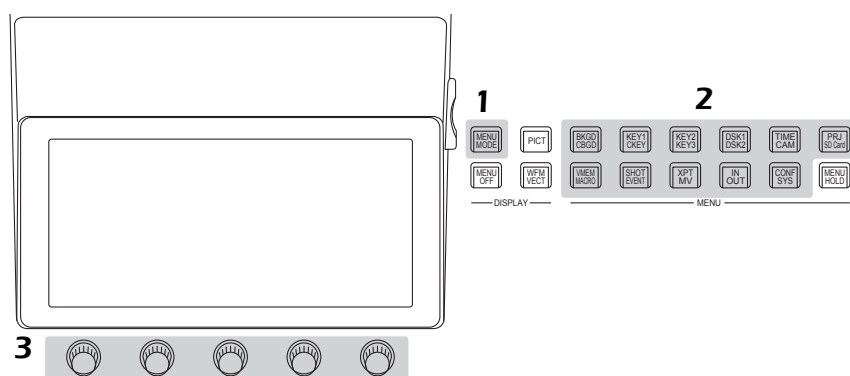
メニュー構成と操作

1 [MENU MODE] ボタンを押して、内蔵ディスプレイにメニューを表示します。

⇒「ディスプレイ部」参照

2 メニュー選択ボタン (MENU) で、各機能別のメニューを選択する

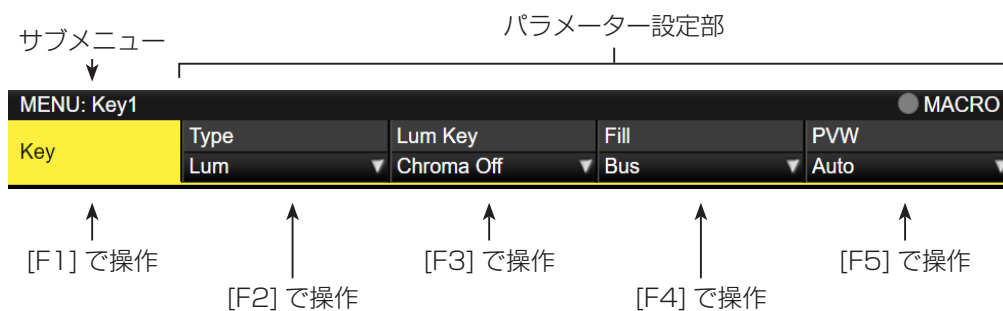
ボタンを押すごとに、ボタンの上段に表示されている機能と下段に表示されている機能のメニューが切り替わります。選択中のメニューのボタンは、アンバー色に点灯します。



3 ロータリーエンコーダー [F1] ~ [F5] で詳細な設定をする

[F1] : ロータリーエンコーダーを回してサブメニューを切り替えます。

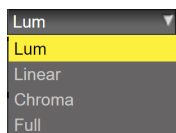
[F2] ~ [F5] : ロータリーエンコーダーを操作 (押す、または回す) してパラメーターの設定をします。
詳しくは、次のページを参照してください。



- InputメニューとOutputメニューは、オプションユニットの有無によりメニューが異なります。

準備

リストボックス：



- ① [F2] ~ [F5] を押してリストボックスを表示します。
- ② [F2] ~ [F5] を左右に回して設定値を選択します。
 - 選択した設定値が点滅しない項目は、選択した時点で設定値が本機に反映されます。
 - 選択した設定値が点滅する項目は、[F2] ~ [F5] を押すことで設定値が本機に反映されます。
- ③ 再度 [F2] ~ [F5] を押してリストボックスを閉じます。
 - [F2] ~ [F5] を長押しすると、リストを初期値に戻します。

選択ボタン：



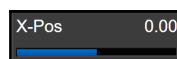
[F2] ~ [F5] を押すと、“On” と “Off” が切り替わります。
[F2] ~ [F5] を長押しすると、リストを初期値に戻します。

実行ボタン：



[F2] ~ [F5] を押すと、該当の機能を実行します。

数値入力ボックス：

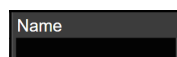


[F2] ~ [F5] を回して数値を変更します。
[F2] ~ [F5] を長押しすると、数値を初期値に戻します。
数値と連動して数値バーが表示されます。

テンキーで数値を入力する

- ① [F2] ~ [F5] を押すと、テンキーで数値を入力するモードになります。
 - 小数点は、 ボタンで入力してください。小数点を入力しないと整数値になり、小数点以下の値が“0”（ゼロ）になります。
 - プラスやマイナスの数値は、 ボタンを押して切り替えてください。 ボタンを押すごとにプラスとマイナスが切り替わります。
 - 数値を入力しているときに ボタンを押すと、数値を変更前の値に戻します。
- ② テンキーで数値を入力して [TAKE ENTER] ボタンを押します。
入力した値が確定して本機に反映されます。
 - テンキーで数値を入力して [F1] ~ [F5] を操作すると、入力した値が取り消されて入力前の数値に戻ります。
 - 設定範囲外の数値を入力した場合、無効となり、入力前の数値に戻ります。

文字入力ボックス：



[F2] ~ [F5] を押すと、キーボード画面が表示されます。
[F1] ~ [F5]、ポジションナー、[Z] を使って文字を入力します。

⇒「キーボード画面の操作」参照

[F2] ~ [F5] を長押しすると、文字を初期値に戻します。

準備

キーボード画面の操作

入力信号の素材名、メモリーの名称、メモリーカードに保存するデータの名称などを変更する場合、キーボード画面を表示して文字を入力します。

名称を変更する項目（文字入力ボックス）に該当する [F2] ~ [F5] を押すと、内蔵ディスプレイにキーボード画面が表示されます。



キーボード画面が表示されると、ポジショナー、[Z]、[F1] ~ [F5] を使って文字（英数字と記号）を入力していきます。このとき、入力エリアに選択した文字が反映されます。

[F1] : CURSOR

[F1] を回して入力エリア内でカーソルを移動させます。

[F2] : SHIFT

[F2] を押すと、キーボードの表示が切り替わります。（大文字、小文字、記号）

[F3] : CLEAR

[F3] を押すと、入力エリアの文字が全消去されます。

[F4] : OK

[F4] を押すと、入力した名称が確定して本機に反映されます。

このとき、キーボード画面が消えて元の画面に戻ります。

[F5] : CANCEL

[F5] を押すと、入力した名称が取り消されます。

このとき、キーボード画面が消えて元の画面に戻ります。

ポジショナー : POSITION

ポジショナーを動かしてキーボード画面内でカーソルを移動させます。

[Z] : SELECT

[Z] を押すと、文字を選択します。

- テンキーで数字入力、[C] ボタンで文字の削除、[Enter] ボタンで名称の確定をすることも可能です。


メニューデリゲーション機能

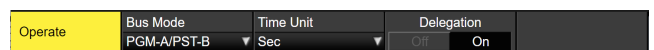
下記のボタンをダブルクリックすると、特定されたメニューに切り替わります。（メニューデリゲーション機能）このとき、各ボタンを押したときの動作も実行されます。

ボタン	切り替わるメニュー
クロスポイント部 (AUX バス選択ボタン)	
KEY1 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー クロマキー選択時： Chroma Key メニュー / Adjust サブメニュー PinP 選択時 (4K モード、4K DVE ユニットがない場合)： PinP メニュー / Position サブメニュー
KEY2 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー PinP 選択時 (2K/HD モード)： PinP メニュー / Position サブメニュー
KEY3 F/S	Key メニュー / Adjust サブメニュー
DSK1 F/S	DSK メニュー / Adjust サブメニュー クロマキー選択時： Chroma Key メニュー / Adjust サブメニュー PinP 選択時： PinP メニュー / Position サブメニュー
DSK2 F/S	DSK メニュー / Adjust サブメニュー
トランジション部	
BKGD	Time メニュー / BKGD サブメニュー
KEY	Time メニュー / Key1 サブメニュー
WIPE	Background メニュー / Border サブメニュー

< メニューデリゲーションの設定 >

メニューデリゲーション機能の有効/無効を設定します。

- ①  ボタンを押して点灯させ、Config メニューを表示します。
- ② [F1] を操作して Operate サブメニューを表示します。



- ③ [F4] を操作して、Delegation 項目でメニューデリゲーション機能の有効/無効を設定します。

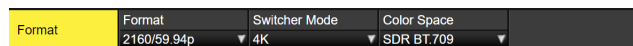
On	有効
Off	無効

システムフォーマットの設定

システム（入出力信号）のフォーマットを1つ選択します。

①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。

② [F1] を操作して Format サブメニューを表示します。



③ [F3] を操作して、Switcher Mode 項目で 4K、2K を選択し、[F3] を押して選択内容を確定します。

- 本機の Switcher Mode を 4K、2K に切り替えたときに、Initial と再起動を実施します。Initial されるため、現在設定している内容、ビデオメモリーはすべて消えてしまいます。内蔵ストレージに保存している Still、Clip データ、プロジェクトファイルは消えません。

④ [F2] を操作して、Format 項目で各フォーマットを選択し、[F2] を押して選択内容を確定します。

- 本機の Format を切り替えたときに、ビデオメモリーがすべて消えてしまいます。ただし、静止画のメモリー (Still) は 1080、720 に切り替えたときのみ消えます。内蔵ストレージに保存している Still、Clip データ、プロジェクトファイルは消えません。

⑤ [F4] を操作して、Color Space 項目でカラースペースを選択し、[F4] を押して選択内容を確定します。

日付と時刻の設定

メモリーカードのタイムスタンプに使用する日付と時刻を設定します。

メモリーカードを使用する際は、必ず設定をしてください。

日付を設定する

①  ボタンを押して点灯させ、Systemメニューを表示します。

② [F1] を操作して Date サブメニューを表示します。



③ [F2] を操作して、Year 項目で年を設定します。

④ [F3] を操作して、Month 項目で月を設定します。

⑤ [F4] を操作して、Date 項目で日を設定します。

⑥ [F5] を押して、年・月・日を確定します。

⑦ [F1](YES) を押して保存します。[F5](NO) を押すと無効となります。

時刻を設定する

① Systemメニューから、[F1] を操作して Time サブメニューを表示します。



② [F2] を操作して、Hour 項目で時を設定します。

③ [F3] を操作して、Minute 項目で分を設定します。

④ [F4] を操作して、Second 項目で秒を設定します。

⑤ [F5] を押して、時・分・秒を確定させます。

⑥ [F1](YES) を押して保存します。[F5](NO) を押すと無効となります。

時刻は、電源 ON 時からカウントアップされます。

内蔵日付用電池について

時刻表示が「2014/01/01 00:00:00」の時は、内蔵日付用電池が消耗しています。

内蔵日付用電池充電後、日付と時刻の設定を行ってください。

内蔵日付用電池を充電するには

本機の電源を ON にして約 3 時間そのままの状態にしてください。

約 6 か月間時計設定を記憶します。

定格

定格の詳しい内容については、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

電源	: AC (～) 100 V – 240 V、50/60 Hz
消費電流	: 1.5 A

--

 は安全項目です。

その他

動作周囲温度	0 °C～40 °C
動作周囲湿度	10 %～90 % (結露なきこと)
保存温度	0 °C～40 °C
保存湿度	10 %～90 % (結露なきこと)
質量	約 7 kg
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	440 mm × 170 mm × 360 mm (突起部含まず)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社(裏表紙)までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、
お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載
内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品 [8年]

当社では、ライブスイッチャーの補修用性能部品を、製
造打ち切り後、8年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するた
めに必要な部品です。

■定期メンテナンス(保守・点検)

定期メンテナンス(保守・点検)は、お客様が安心して機
器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナ
ンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するた
めのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ほこりの付着などによる突発
的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能
、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推
奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、
機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス(有料)についての詳しい内容は、お買
い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店ま
でご連絡ください。

■保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。
保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望
により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	ライブスイッチャー
品番	AV-UHS500
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

A series of horizontal dotted lines for writing.

A series of horizontal dotted lines for writing.

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
- この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費及び高所の取外し、取付けに要する実費

- 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

出張修理

ライブスイッチャー 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は〈無料修理規定〉をご参照ください。

パナソニック コネクト株式会社

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

品番	AV-UHS500
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
*お買い上げ日	年 月 日
*お客様	ご住所 お名前 電 話 () -
*販売店	住所・販売店名 電 話 () -

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2020-2024